



4月29日(金)、全町一斉春のクリーン作戦が行われました。

当日は小雨で風もあり、寒い中での作業となりましたが、参加者の方は手際よく、道路に落ちているごみやたまっている砂などを拾ったりして町をきれいにしていました。



東日本大震災被災地支援として、岩手県山田町にある保健センターに町立診療所の看護師佐藤智美さん(41)が、4月28日から5月4日までの間、夜間診療と、避難所の巡回診療の支援職員として派遣されました。佐藤さんは5月6日に役場を訪れ、支援活動の報告をされました。



5月10日、役場2階応接室において、高齢者叙勲伝達式が行われ、東町の小池信吉さん(88)が受章されました。

小池さんは、昭和48年から平成元年までの4期16年間の永きにわたり、剣淵町議会議員としてご活躍されたことが認められ、北海道知事より旭日単光章が授与されました。



5月11日、平波大学の学習日で、佐々木町長が講師を務めました。

講義では平成23年度の剣淵町の予算や主要事業など行政執行における重点事項で、大学生の方々は、真剣に佐々木町長の話に耳を傾けていました。



東日本大震災被災地支援で岩手県山田町にある福祉施設はまなす学園に西原学園の山田美希さん(24)と、北の杜舎の小林久晃(19)さんが、4月28日から5月5日までの間、応援職員として派遣されました。山田さんと小林さんは5月16日に役場を訪れ、支援活動の報告をされました。



5月21日に南桜町にある下水汚泥堆肥化施設で堆肥販売会が行われました。

この堆肥は汚水を浄化センターで処理する際にできる汚泥を利用していますが臭気はなく、家庭菜園、花壇、芝、庭木など広く使用できます。

販売会には軽トラで来られる方も多く、スコップを手に持ち、もくもくと袋詰めされていました。